

お知らせ

2011年度

風評被害地域の農家支援について

～社員食堂で当該地域産野菜を使用したメニューを提供、販売会も実施～

各 位

JXグループは、グループ行動指針「EARTH-5つの価値観」の一つである「社会との共生」に基づき、原発事故に伴う風評被害を受けている東北・関東地方(注1)の農家の方々を支援してまいります。

具体的には、JXビル地下1階のグループ社員食堂において、食堂運営会社のご協力を得て、当該地域産で出荷制限の対象となっていない安全な野菜を食材として用いた料理メニューを提供することといたしました。

また、当該地域産の新鮮な野菜の販売会も、「企業マルシェ(注2)」の一つとして実施することとし、本日、茨城県産の野菜販売会を開催いたしました。

JXグループは、(社)日本経済団体連合会による震災復興支援活動に連携し、風評被害を受けているの方々を、グループをあげて応援してまいります。

(注1)対象産地は、福島県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県および千葉県との6県としております。なお、実際に使用される野菜は、日々の食材の入荷状況等によります。

(注2)「企業マルシェ」とは、企業と特定の地域などが連携して、対面販売や通信販売等により、その地産食材を社員に斡旋提供する取組み。「マルシェ(Marché)」はフランス語で「市場」のこと。

以 上



社員食堂で対象産地野菜を使用した復興支援特別メニューを食べる、当
社会長・西尾進路(右)と社長・高萩光紀



茨城県産野菜販売会で野菜を購入する、JX日鉱日石エネルギー社長・
木村康(左から3人目)とJX日鉱日石金属・岡田昌徳社長(同2人目)
[於 JXビル1階]